

ときめく、ひろがる、みんなのワクワク!

県広報とやま



とみら



特集1：持続可能な中山間地域づくり

特集2：農業と福祉がつながって

富山を元気に!

2023

10

October

NO.508

令和5年10月1日発行

★ほほえみナビ★

今回のテーマ

「中山間地域の活性化」



地域を幸せにするヒントは、
きっと地域にあるはずですよ。

「ろんくま移住促進委員会」のみなさん

(後列左から) 北向進さん、松田幸盛さん、中原修さん

(前列左から) 垣地ひとみさん、内毅さん、荒屋恵智子さん

「ノッカルあさひまち」のみなさん

(左) 朝日町商工観光課地域交通係 坂藤未知祐さん、

(右) 同 小谷野黎さん

(中央) ドライバー 河村章さん

みんなが助け合う、
便利な暮らしを実現していきます。



地元の文化財をめぐる
くまなしウォーキング



車に貼った「ノッカルあさひ
まち」のシートが目印

約200世帯の中山間地域で多彩な活動をしている氷見市論田・熊無地区の「ろんくま移住促進委員会」。会長の内さんは「大学など外の人々と交流することで地域の良さを再認識したことが活動の原点」。誰かが提案したことにはみんな協力的で温かい雰囲気であることが好循環を生み、地元の文化財をめぐる伝承料理を提供するウォーキングイベントの開催や、地域情報をLINEで発信する『デジタル自治会』等様々なことに取り組んでいます。「みんなが一つになって取り組めて、少し背伸びすればできる目標を立てたことがよかった。これからも前向きに変化していく地域にしたい」と内さんは笑います。

朝日町では、自家用車で移動する人が、おでかけしたい人を乗せていく、助け合いによるサービス「ノッカルあさひまち」が走りはじめています。これまでドライバー27名、住民365名が登録。ドライバーの河村さんは「ありがたいと言われると嬉しい。利用者からは利便性だけでなく、近所の人との会話が楽しいとの声も聞きます」。運営主体の町担当者は「買い物や通院などで市街地へ行く地域の移動支援の一つ。まだ完成形ではないので、もっとニーズを把握し、住民と連携しながらよりよい地域交通をつくっていききたい」と話します。地域全体で「住み続けたい中山間地域」を支える取り組みが始まっています。

持続可能な中山間地域づくりに向けた

県の取組みは次頁へ

「住み続けたい」「訪れたい」中山間地域を目指して

県土の7割を占める中山間地域は、私たちの安全・安心・快適な生活に大きな役割を担うエリアです。様々な課題もありますが、**住民が主体**となった元気な地域づくりの活動が各地で行われています。

中山間地域の役割と現状

中山間地域は、農地や山林が適切に維持管理されることにより、防災・文化の継承・自然と触れ合う機会の提供・食料の安定供給など私たちの生活に関わる重要な役割を担っています。しかし近年、急速な人口減少や高齢化が進み、地域社会の維持が課題となっています。

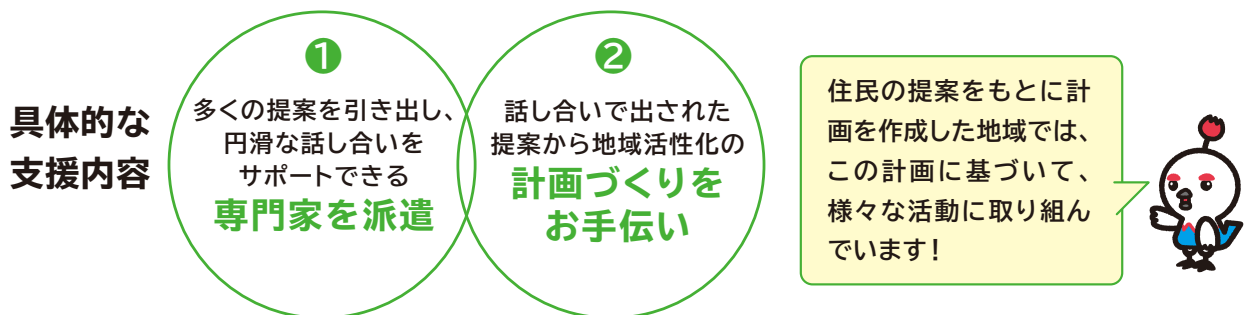
▶中山間地域社会の衰退が進むと…

- 耕作放棄地が拡大し、**食料の安定供給に悪影響**
- 野放しの山林が拡大し、**土砂災害等のリスクが増大**
- 伝統行事や風習の担い手が減り、**文化の継承が困難**



住民主体の地域づくりに向けて！

県では、中山間地域における地域社会の維持・活性化に向け、住民が主体となった地域のありたい未来像の話し合いや実現に向けた**計画作成**を支援しています。これまでに40地域が県の支援を受けて**話し合い**を行っています。



▶～実際の話し合いの様子～

STEP
1



みんなで地域のことを話し合う

“地域の現状”、“地域の望ましい未来像”を話し合うグループワークを開催。参加者同士で共有・共感して、目指したい未来像を「見える化」する。

STEP
2



地域をみんなで確認、解決に向けたアイデアを出す

目指したい未来像を意識しながら「まち点検」を実施。地域資源の発見や未来像の実現に向けたアイデアを出し合う。

GOAL 目指したい未来像に向けて、みんなでできる活動とその計画を立てる

地域を元気にするアイデアを支援!

県では、住民・企業・団体等が連携して取り組む地域活性化の活動を補助金で支援する、中山間地域チャレンジ支援事業を行っています。地域の話し合いで作成した計画の実現にも、この事業が活用されています。

▶ 事業を活用した活動例

南砺市平地域

平地域づくり協議会

地域の元気の源になる平地域わくわくプロジェクト



地元中高生のアイデアにより空き家を改修したブックカフェをオープン。改修には地元高校生も協力、新たな地域の集いの場としてイベント会場や子供たちの学習スペースなどとして運営。

黒部市愛本地域

愛本アクションプラン実行委員会

愛もっとプロジェクト



地域の財産である古民家を活用したコミュニティカフェ開設やイベントの企画、地域の魅力を発信するHPの作成など、話し合いで決めた計画の実現を進めて地域住民が一つになれる機運を醸成。

教えて!
とみら



中山間地域の日常生活を支える取組みを教えて!

買い物に不便を感じる方の多い中山間地域では、インターネットで注文した食品等を自宅に届ける宅配便の重要度が更に高まっています。県では、経営の効率化を進めている宅配事業者と連携して、日常生活を支えるサービスの確保のため、宅配ボックス設置による再配達削減効果を調べる実験を南砺市で実施しています。

〈箱で受けますプロジェクト〉



「全国過疎問題シンポジウム2023 inとやま」開催!

過疎地域の優れた取組みにふれられる全国規模のイベントです。幸せを実感できる地域づくりを考えるきっかけとしてぜひご参加下さい。

10/26
全体会

富山県民会館ホール(富山市)

●優良事表彰式 ●基調講演 ●パネルディスカッション

参加申込は
こちら

10/27
分科会

①朝日町 [あさひコミュニティホールアゼリア] ●優良事例発表

②氷見市 [氷見市芸術文化館] ●優良事例発表

③南砺市 [南砺市井波総合文化センター] ●パネルディスカッション



全国過疎問題シンポジウム2023 inとやま 🔍

“農福連携”知っていますか？

県では、「農業」「福祉」双方が抱える課題を、両分野の連携によって解決する“農福連携”を進めています。まずは皆さんに知っていただき、理解を広めていきたい取り組みです。

「農業」と「福祉」はWin-Winの取り組み

農福連携とは、障害のある方が農業分野で活躍することで、自信を持ち、社会参画を促す取り組みです。農業分野では働き手不足の解決が、福祉分野では障害者の働く場の確保や工賃の向上が期待されています。

▶ 具体的な連携方法

① 作業受委託型

農家が、障害福祉サービス事業所に農作業や加工を委託する。



② 直接雇用型

農家が、障害のある人を雇用し、農業に従事してもらう。



③ 農業参入型

障害福祉サービス事業所が、自ら農業を行う。



農福連携マルシェ開催！

農福連携の取り組みにより生産された農作物を販売するマルシェを開催します！

第1回農福連携マルシェ

日時 **10/14** 10:00~15:00

場所 イオンモール高岡 セントラルコート

第2回農福連携マルシェ

日時 **11/5** 10:00~15:00

場所 フューチャーシティ・ファボーレ ときめき広場



皆さん、
ぜひお越し
ください！



Pick
UP

現場の声や農福連携について、
より分かりやすく
紹介しています！

動画は
こちら⇒



パンフレットは
こちら⇒



エコドライブで環境にも財布にも優しく

※エコドライブ：ゆっくり加速、ゆっくりブレーキ、車間距離にゆとりをもつなど、低燃費で安全を考えた運転方法

燃料高騰が続く中、家計と環境に優しいエコドライブが注目されています。エコドライブを心がけると燃費が10%向上するといわれており、温室効果ガスの削減だけでなく、ガソリン代の節約や交通事故の防止にもつながります。



ガソリン代が
10%OFF!
187円/ℓ⇒168円/ℓ
で買っていることと同じに!

①発進

ふんわりアクセル「スタート」(穏やかな加速)

ふんわり



10%程度燃費改善

②走行

車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転を

ゆとり



ムダな加速・減速で
2~6%燃費悪化

③停止

減速時は早めにアクセルを離そう



エンジンブレーキの活用で
2%程度燃費改善

さらに

タイヤの空気圧から始める点検・整備

空気圧
チェック



空気圧不足で
2~4%燃費悪化

◎問合せ先 県環境保全課 TEL.076-444-3145

ハチロウの きときと通信



こんにちは。新田八朗です。皆さんに県政をより親しみやすく感じていただくため、コラムを始めることにしました。どうぞよろしくお願ひします。秋は豊かな実りの季節、食欲がわく季節ですね。皆さんは今日、何を食べましたか？食べることは、生きるうえで欠かせない営みですが、食事や料理の楽しい時間、生産者などへの感謝の気持ちなど、私たちは食事から多くのことを学んでいます。私もささやかな家庭菜園で、手をかけ、無心に世話をする中で、育つことやその実りをいただく喜びを感じています。(ようやく収穫の日に、ひと足早く鳥に横取りされて悔しい思いをすることもあります…。)日々の忙しさから食がおろそかになったり、好き嫌いから偏った食生活になっている方もおられるかもしれませんが、ぜひこの機会に誰かと一緒に食事や料理をしたり、旬の食材や郷土料理を味わったり、収穫体験をしてみたいはかがですか！

富山県知事 **新田八朗**



Q

○の中に言葉を入れてください。

「**住み続けたい中山間地域**」
実現の原動力は、
〇〇〇〇の地域づくり!

ヒント:漢字4文字です。

正解者の中から
15名の方に
プレゼント!

富富富 2kg



はがき応募:①~⑧の項目を全て記載のうえ、下記宛先まで。応募は1人1回までとし、当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。①クイズの答え、②郵便番号、③住所、④氏名、⑤電話番号、⑥年齢、⑦特に興味を持ったコーナー名⑧本紙の感想 ※ご記入いただいた個人情報は、厳正な管理のもとで取り扱い、アンケート集計とプレゼント発送にのみ利用します。宛先/〒930-8501(住所記入不要)県庁広報課「県広報とやま10月号クイズ係」締切/10月31日(火)必着 ©前回(8月号)の答え…「生活習慣」応募総数1,259人 正解者数1,198人 たくさんのご応募ありがとうございました。



WEBでのご応募はこちら▲

子育て

支援 情報

出産後の家事・育児を お手伝いします

出産後の体調がすぐれない時期に産後ヘルパーをお願いしてみませんか？

対象 県内在住の出生後6か月以内の子の親

支援内容 家事(調理・衣類の洗濯・掃除・買物など)
育児(授乳の手伝い・おむつ交換の手伝い・沐浴の手伝いなど)

利用料金 「ヘルパー利用券」ご使用で1回(2時間以内)につき1,500円
※市町村によっては、利用料金が異なる場合があります

「ヘルパー利用券」の申込みはお住いの市町村へ

とやま子育て応援団を 利用しませんか？

お子様連れのご家族が協賛店を利用した際、**応援団マーク**を提示すると、割引や特典等のサービスが受けられます！

対象 18歳未満(高校等在学者含む)のお子様連れのご家族

サービス期間 毎月第3日曜日から始まる1週間
※上記期間を中心としますが、協賛店ごとに異なる場合がございます。

ご利用方法 子育て応援サイト「とみいくフレフレ」のトップページなどにある
応援団マークを各協賛店でご提示ください。

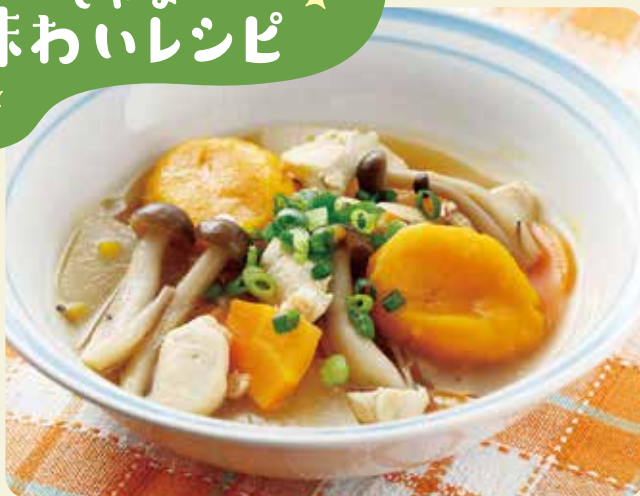


協賛店の
詳細はこちら



◎問合せ先: 県子ども政策課 TEL.076-444-9683

とやま 味わいレシピ



<協力> 舟橋村食生活改善推進協議会

米粉の かぼちゃだんご汁

ほくほくして甘みが強い舟橋村特産のハートかぼちゃ(九重栗かぼちゃ)を使用しました。米粉を混ぜることで、柔らかくモチモチなだんごになります。根菜類とタンパク質が一度に摂れる一品です。

①かぼちゃは皮と種を除き、茹でて柔らかくし、熱いうちに潰す。②①に米粉を入れてよくこね、まとめておく。③鶏肉を一口大に切る。④にんじんとだいこんはいちょう切り、しめじは石づきを切り落とし、ほぐしておく。ごぼうは皮をむき、ささがきにする。⑤鍋にかつおだし、にんじん、だいこん、しめじ、ごぼうを入れて煮る。⑥⑤に鶏肉を入れ、さらに煮る。⑦②を火が通りやすいよう小さなだんごに丸めて鍋に入れ、火が通るまで煮る。⑧具材が柔らかくなったら、しょうゆ、みりんを味を整える。⑨器に盛り、小口切りにした小ねぎを散らす。

【材料・分量(4人分)】 1人分/110kcal

かぼちゃ…150g、米粉…大さじ3、鶏肉…40g、にんじん…40g、だいこん…60g、しめじ…40g、ごぼう…40g、小ねぎ…適量、かつおだし…700ml、しょうゆ…大さじ3、みりん…大さじ3



富山県では、健康寿命日本一を目指しています。健康寿命をのばすため、正しい生活習慣、食習慣を心がけましょう。



富山のおいしいを発見。富山県の食文化を伝える公式サイト。「越中とやま 食の王国」



県内おでかけ情報

富山県美術館

高校生以下無料

富山市木場町3-20 TEL.076-431-2711

金曜ロードショーとジブリ展

スタジオジブリ作品が、広く親しまれている背景には「金曜ロードショー」の存在があります。本展では、ジブリ作品の魅力を金曜ロードショーで放映された時代とともにご紹介。これまで語られなかった秘密や、作品の世界に飛び込める空間が登場します。



- 期間 10月7日(土)～令和6年1月28日(日)
- 時間 9:30～18:00(入室は17:30まで)
- 休館日 水曜日(ただし、10/11、1/3は開館)、12/30(土)～1/2(火)
- 料金 一般1,800円、大学生1,400円

※未就学児を除き、「日時指定予約制」です。



水墨美術館

高校生以下無料

富山市五福777 TEL.076-431-3719

芳年

—激動の時代を生きた鬼才浮世絵師

江戸から明治への急激に変貌する時代に活躍した浮世絵師、月岡芳年。本展では、芳年の武者絵のほか風景画、歴史画など200余点を紹介。最後の浮世絵師と称された芳年の巧みな技と豊かな想像力、卓越した画面構成をご堪能ください。



- 期間 9月15日(金)～11月19日(日)
- 時間 9:30～18:00(入室は17:30まで)
- 休館日 月曜日(ただし10月9日は開館)、10月10日
- 料金 一般900円(700円)、大学生450円(350円)

料金欄の()内は20名以上の団体料金



国宝 勝興寺

小学生未満無料

高岡市伏木古国府17-1 TEL.0766-44-0037

企画展「縁 歴史を支えた人々」

勝興寺の国宝指定を記念し、企画展を開催します。国宝の「本堂」「大広間及び式台」等を会場に普段は非公開である国の重要文化財「洛中洛外図屏風」をはじめ、勝興寺の貴重な寺宝を公開します。併せて、会期中に講演会やライトアップも行います。



- 期間 9月30日(土)～11月5日(日)
- 時間 9:00～16:30(入場は16:00まで)
- 休館日 ※会期中無休
- 料金 大学生以上1000円、中高生700円、小学生600円



開催状況など最新の情報は、ホームページをご確認ください。



県政やイベントの情報などを発信しています。



県広報とやまに関するご連絡、ご質問はこちら

〒930-8501(住所記入不要)県庁広報課あて
TEL.076-444-3134 FAX.076-444-3478



E-mailは左記のお問い合わせフォームよりお送りください



「県広報とやま」は、4・6・8・10・1月(年5回)発行で新聞折り込みにより各家庭にお届けするほか、県の各施設や市役所・町村役場、図書館のほかコンビニエンスストア(一部)でも配布しています。また、本号とバックナンバーは県のホームページで閲覧できます。◎「県広報とやま」には点字版と音声版もございます。上記までお問い合わせのうえ、ぜひご利用ください。

県広報とやま